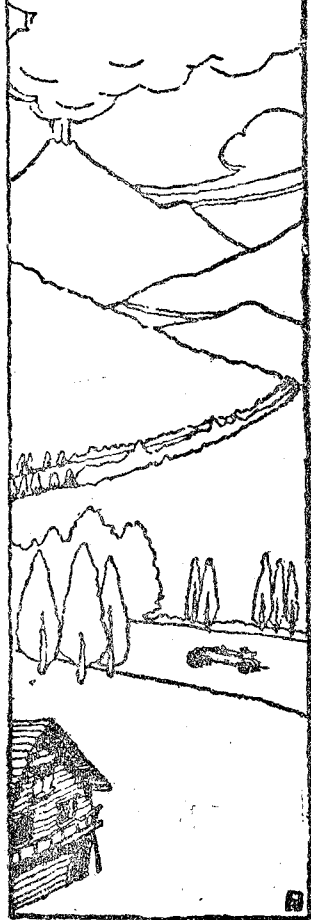


論 說



交通の根幹たる道路

政策の確立と充實とを望む

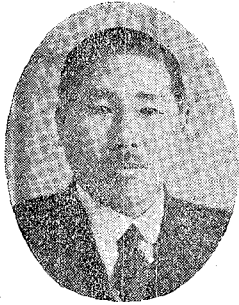
…… 國營自動車國費補助自動車を

全國に普及せしむるの必要……

衆議院議員 山 道 襄 一

一、道路は交通の根幹也

交通發達の必要は今更ら申すまでもないことであるが近時鐵道道路が文化の發達經濟の進歩生活



の安定と直接間接に至大な關係を有つて居ることは何人も承知の事柄である。鐵道が發達をする以前に人類唯一の交通機關として道路が尊重せられて居つたのは言ふ迄もないが、更に鐵道が發達して來てからも尙ほ一層道路の必要を感じて居るのである。何となれば鐵道は全國津々浦々まで網の如くに普及せしむるのが本旨ではあるけれども、財政上地理上其他の關係で、全國限なく之れを普及せしむることは不可能事であるから、此の鐵道を聯結して、鐵道の目的を完全に達せしめ、又此の鐵道に通達する爲めに、最も道路の必要なることを感ずるのである。或る意味に於ては道路は即ち鐵道の助成機關である。近時鐵道の建設改良の聲が喧ましく唱道されて道路の改良を等閑に付した結果、昨年の大震災の如き不幸が突發した場合には、忽ち交通の上に大故障を惹起して、單に一般人民の交通のみならず、經濟上の運輸、或は軍事行動等の上に就ても、茲に一つの停頓を來すの虞れが出来るのである。故に鐵道と相駢して、或はヨリ以上に道路の築造改良に力を用ゆるの必要があるのである。

二、東京は世界の最惡道路

又都市に於ては或は電車、或は自動車、或は自轉車等盛んに利用せられて居るが、是れのみによつて市街交通の目的運輸の目的を完成することは出来ない、又何れも街路の上を走つて居るものであるから、道路の完成を期せなければならぬのである。これ等の機關が發達し頻繁になればなる程その歩行路の完全ならんことを必要とする。然るに大都市であり日本帝國の首都である東京市の街路の如きは、實に驚くべき粗惡のものである、殆んど世界の最惡道路否無道路と云ふべき彼の滿洲地方にも等しい

やうな状態である。元來我國の道路が一體に粗悪であるのは幾多の理由があるであらう、永年の間各藩割據たる戦争のみを事として居つたから、此の方面に力を用ひなかつた事、軍事上の或る意味に於て、交通の不便を殊更に必要とした場合もあらうし、又專制政治家達が國民を疲弊せしめて置き、國民經濟の發達を希望せざるが爲めに、其の政策上交通機關の完備を殊更に阻害した事情もあらうし、又我國の經濟上の實力が交通機關の發達を促がす必要を認めなかつたといふ憫れな状態もあつたであらうし、更に又日本國民に時間の觀念が無かつた事と、高下駄たがを穿はいて歩く習慣のあつた事も、此の街路の粗悪に甘んずるやうになつて居たものと思ふ。が何れも舊時代の事であつて、今日の時代の上には於ては實生活の上から申しても、亦體面の上から申しても速に都會の街路を改良して其の完成を期さなければならぬ。

三、地方道路の不統一

更に又地方の道路に至つては極めて不統一なもので、今日各縣に於て道路政策を行ひ、或は郡制施行時代には郡に於て郡の道路政策を行ひ、又町村の道路政策があつて、其執り來つた道路政策は、全國に亘つて之れを觀ると極めて不統一不完全なものである。例へば或る一縣は縣道が非常に發達して居るが隣の縣境に行けば隣縣は極めて粗末なる縣道を有つて居る、兩縣の聯絡が無いために、其の立派な縣道も唯一縣の地域内のみで行詰るといふやうな状態になつて居る。是等は國家の上から言うて洵に悲しむべき事であつて、少くとも縣道以上の道路は之れを全國的に統一して、恰かも人間の體を通つて

居る血管と等しく、共通の統一せられたる方法に依つて之れが完成を期するやうにしたいものと思ふ。殊に自分の遺憾に感ずるは、近來政治家諸君が道路問題を悪用して、黨略或は自己の勢力擴張のために濫用し放なしの結果、全國各府縣に於て折角計畫せられ居る府縣道なるものは實に慘憺たる状態に行詰つて、計畫の立て放しになれる所も鮮くない。即ち政治家が道路問題を論ずるに當つて、其の衷心より交通政策の立脚地たつぱ國民公益の立脚地よりするのでなく、一時的に選舉或は黨勢の擴張に利用したから此結果に陥つたのである。又一部の人達は鐵道問題の如き、全力を擧げて之れを唱道するけれども、選舉や黨勢と關係の薄き道路問題に對しては之れを冷眼視して居る傾きがある。現に先般來の行政財政整理問題の時に於ても、港灣治水、鐵道等に就ては各黨各派の政治家諸君は躍起となつて運動せられたけれども、國家交通の根幹をなす所の國道政策に就ては、冷々淡淡として之れを閑却し僅かに内務當局の最後の決心に依る努力に依て命脈を保ち得たのであつた。

四、顧みられない朝鮮の道路

更に選舉と何等の關係の無い朝鮮の道路に對しては、千五百萬の朝鮮人の公益と國家産業とに至大の關係あるに拘らず政黨政派中殆んど一人も之を顧みる人が無いと言つて宜い状態である。現に朝鮮の道路の如きは、故寺内總督の時代に道路を一等、二等、三等と別つて、非常なる努力と苦心とを以つて之れが整備に盡されて、山間僻地の民に至るまで此の愛道の恩恵に浴さしめた結果、半島各町村に自動車を運轉し得る迄になつて居たに拘らず、其の後此の政策續行に對して何等の輿論も起らず何等の方

法も講ぜられなかつた爲め、今日は折角の大道路が出来て居りながら、橋梁が破壊しても其の儘道路が破損しても其の儘に放任されて顧みられないといふ状態になつて居る。新總監は道路政策に大努力を惜まないことゝ信ずるけれども、斯かる事柄は政治家が所謂立憲政治と稱して選舉に關係のない地方に對しては甚しく冷淡を極めるといふ好個の實例である。斯の如きは近代政治の一種の弊害として、最も注意すべきであるが、自分の考としては各府縣各々其の政策を異にすれば、先きに述べたる如き不統一を生じ、政治上の弱點を暴露するやうになるから、治水事業や道路事業の如きは宜しく鐵道と同じく此の際統一したる政策に依つて、全國的に計畫さるゝ方法に向つて邁進することを希望する。これに就ての細かい意見は、他日申述べべる機會があらうと思ふから今日は省略しておく。

五、國營自動車を興せ

デ當面の必要事として識者の一考を促したいのは自動車運轉の普及である。今日全国各地の人達が鐵道の敷設を希望して居るのは無理からぬ事柄ではあるが、國家財政の現状に鑑みても、各地方民の希望する鐵道を皆な建設の出来ないことは言ふ迄もない、既に既定計畫に屬して居るものすら繰延、中止の厄に遭ふやうなことである。縱し假令既定計畫の鐵道が悉く建設せられても或る地方の住民は鐵道の便を得る爲めには、或は二十里或は三十里を往かなければ到底その恩澤に浴することは出来ない有様である。是等の不幸なる國民をして如何にせば文明の恩澤に浴せしむることを得るかそれには全國の津々浦々までも國營自動車、或は國費補助に依る自動車の運轉を開始せしむることが最も必

要であり容易であり、又最も有益の事柄であらうと考へる。之れを行ふには先づ道路を改良して、完全な道路の上に自動車を行らせる外には致し方がない。そこで鐵道の建設と道路の改良とを比較して見ると、鐵道は一哩に二十萬圓からの金を要するが、道路の改良は一哩一、二萬圓の補助で足りる、六七萬圓もかければ新道が築かれやう。デ全國民に對し、普遍的に交通機關の恩澤に浴せしむるには、先づ此の道路の改良を行ひ、之れに自動車運轉を致して、これに依つて貨物の運搬、旅客の輸送をすることが最も喫緊の必要事であると考へる。

六、自動車營業獨占權の廢止

近來民間の自動車營業が隆盛に赴くに伴れ、これと競争線なる輕便鐵道が、漸次壓迫せらるゝ狀況を呈しつゝある、如何に自動車運轉が地方民に對して便利を與へて居るかを有力に證據立てるものである。尙ほこれに附加して自分の希望したき事柄は、從來地方の自動車營業（乗合自動車）に對して、獨占權を認めてあるが、斯の如きは地方乗合自動車保護の必要時代に制定された法規に依るもので、最早や今日に於ては其の獨占を許す必要なきのみならず、競争線を開始せしむるの必要がある、さうすれば自から車體の改良も行はれ、賃銀の遞減をも視ることが出來て地方民に非常の利益を與えるのである。故に斯かる方面に對して法令の改正せられんことを希望する。若し競争線となれば互ひに運賃の引下げを斷行し、これが爲めに却つて共斃れとなる虞れがあると云ふならば、之れを防ぐには最低運賃の額を定めておけば、其の弊害は除くことが出來る。

七、道路を改良して文化慾を満たせ

デ約めて申せば國家交通の發達完成を期するには根幹たる道路政策の統一と確立を期し鐵道の如きは國營自動車、國費補助の自動車營業の全國的運轉に依て助成されたいと思ふ、それに就ては其の自動車が全國的に安全に普遍的に馳驅さるゝやうに道路を改良して欲しい、此の國營自動車、國費補助自動車に就ては少しは調査研究して居るから、他日發表する機會もあらうが要するに都會人も地方民に同情し、都市住民と等しく地方民の交通上の利益を増進し、文化慾の満足をさせて貰ひたいものである。今日は地方産業も著しく發達し、地方民の生活狀態も著しく向上して居るとは云ふものゝ猶ほ一面に於ては農村疲弊救済の聲が旺んに叫ばれてゐる、その半面には都會と地方との差別待遇の著しいことを怨んで居る傾向がある事を忘れてはならぬ、斯の如きを其の儘放任する時は之れに依つて地方民心の惡化を招來するの虞れがある、仍つて今日の場合に於ては地方民にも都會に次ぐの交通機關の恩澤に浴せしめて、一面には農村の疲弊を救済し、一面には地方民の文化慾に満足を與へ、普遍的恩惠に浴せしめ、又隠れたる地方の物産をして開發せしめ政治の公平である事を示し一舉數得のことに運びたいものである。それには交通機關の整備——道路の建造、道路の修築、道路の改良は最も必要なことであるから、今日は國費極めて窮乏の秋ではあるが、必ずしも財源の無い事もなからう、それ程貧弱な日本でもなからうと思はれるから、篤と調査の上、是非とも此の道路政策の統一、國營自動車、國費補助自動車運轉の開始といふ事に對して、朝野の注意を喚起したいものである。(完)